

2012 年度第 3 回理事・企画委員会

理事会議事録

1. 日時及び場所 2012 年 10 月 20 日(土)11:00～12:30
大阪府吹田市山田丘 1 番 2 号
大阪大学 人間科学部会議室 A
1. 理事総数 15 名
出席理事数 12 名 出席者：赤松幹之、木暮祐一、大森正子、岡田明、渋谷雄、
大門樹、田中成人、丁井雅美、古川宏
(委任状出席：安藤明伸、川野常夫、萩原啓、)
企画委員：大川努、大杉淳、境薫、長谷川旭、福島かなえ
幹事：伊藤肇 事務局：都築

1. 審議事項 議案 シンポジウムの件
議案 モバイル研究会の件
議案 モバイル学会誌の件

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事 赤松幹之が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 シンポジウムの件

担当の理事 木暮祐一がシンポジウム「モバイル'13」の開催計画を資料に基づき説明を行った。開催日は 2013 年 3 月 7 日（木）、8 日（金）とし、開催場所は青山学院大学渋谷キャンパス、3 教室を無償で確保しており、内 1 つは大会場。参加費と懇親会費について、議場に諮ったところ、満場一致で昨年と同額とすることとなった。

シンポジウムテーマは「他分野に広がるモバイル研究の最前線」とし、重点課題として 1.社会生活に浸透するモバイルの利活用 2.モバイル産業／関連産業の活性化 3.安全・安心な利活用（含・セキュリティ）として、それぞれの特別講演を竹村譲氏、稲田修一氏、安田浩氏にご担当いただく。講演の謝金について、議場に諮ったところ、それぞれ 3 万円と想定して用意する事となった。特別公演は一般公開とするが、事前申込とし、資料は論文誌から抜き出した別冊を用意して 1,000 円で販売する事となった。また、情報交換会（交流会）前に設定し、会への参加を呼びかけも行う。

協賛学協会は48団体、後援は総務省、経済産業省、YRP、中央コリドー情報通信研究所へ申請中もしくは申請予定であることが報告された。また、今後は特別協賛について理事木暮祐一が働きかける予定で、展示等のために会場も確認する必要が指摘された。

企画セッションについて、設定の意図は投稿増加を求めるものであることが説明され、現在2、3名から複数演題の提案有ることが報告された。また、ケータイ系に集中しないために、理事 大門樹、幹事 伊藤肇、理事 古川宏にも演題募集を依頼された。

今回はポスター発表を行わない予定であり、シンポジウム案内については、昨年同様チラシを作成し、Webで早期公開を目指すことを確認した。

議案 モバイル研究会の件

事務局より2013年春に予定されている第15回モバイル研究会の担当について、理事 安藤明伸より秋の担当に変更希望があったことが報告された。

議長より、議場に諮ったところ、2013年春に予定されている第15回モバイル研究会の担当について、理事 宮尾克が候補として挙がり、ご担当いただく事となった。また、秋に予定されている第16回モバイル研究会の担当について、理事 安藤明伸にご担当いただく事となった。

議案 モバイル学会誌の件

現時点の投稿は無いが、近日中に1件あることが事務局より報告された。担当の理事 大門樹より、次年度1号は1月頃発行予定されているが、集まらない場合は、2号との合併号にするという可能性もあること、また以前に論文の完成度的に短報あるいはレターというカテゴリを用意してはどうかとの意見もあったが、条件付き採録という判定を用意し、今回から条件付き採録を採用されるので、しばらく様子見ることが説明された。

続いて、今後の方針について、議場に求めたところ、以下の意見があがった。投稿する側としては、短報あるいはレターというカテゴリがあれば、投稿するときの障壁が低くなる可能性がある。また、査読を希望する観点を著者側から評価基準を提示することも考えられるとの指摘があった。

モバイル系のシステム開発実例などの論文を受け入れても良いのではないかと、論文の長さよりは、査読の規準を工夫してはどうかと提案があった。

査読要領について、包括的な書き方になっているので、査読者が従来型の査読になってしまっているのが現状なので、工夫が必要なのではとの指摘があった。また、モバイル学会側から「モバイル学会は～の論文を受け入れます」と具体的に書いたり、受け入れられる具体的例を示してはどうか？

これらを踏まえ、次のシンポジウムの投稿に合わせて同時進行するとし、メール審議とする事となった。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、議事録署名人として、理事 渋谷雄と理事 大森正子の 2 名を選任したいとの提案があり、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午後 12 時 30 分閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名押印する。

平成 24 年 10 月 20 日

特定非営利活動法人モバイル学会

議長：赤松幹之

議事録署名人：大森正子

議事録署名人：渋谷雄